



入居者様の声

(ご本人の回答は原文のまま)

**Y・I様：70代女性：ALS：ナーシングホーム OASIS 入居中
手のひらに指で文字を書いて話される（筆談）**

2021年2月確定診断を受けられ、わずか三カ月後には気切・呼吸器を装着されました。入居当時から目標は「自宅に戻って生活する」でした。今回 OASIS の風のインタビューを快く引くけてくださいました。

「お仕事は何を？」の問いには「主婦」と回答されました。
畑をされていた事について伺うと、「今は息子に指示して大根・白菜・ブロッコリーを作っている。里芋が豊作だった」との事。見に行ってみみたいそうです。

お部屋にはテレビやスマホもありますが見られておらず、「うるさいのが嫌いなので静かな空間を受け入れている」とお話されました。「スマホは使いたいけれど画面が見にくい。文字をひろい入力するのが大変」とのこと。

「今の楽しみは？」の問いには「お正月の準備を指示するのが楽しみ」、「料理の指示を長男にして、泊まりに来る家族をもてなすこと」、「コロナ禍でずっと会えなかった娘と会えるのが楽しみ」との事です。

読み間違えると手のひらをポン、合っているとOKサインで教えていただけます。とても穏やかな空気を感じるインタビューの時間でした。



トピックス

「BCI 研究協力のご報告」

R3年10月号のOASISの風にて、BCI（ブレイン・コンピューター・インターフェイス）の研修協力のご紹介をいたしました。今回はその中間報告です。

BCI研究者 名工大増尾氏からの依頼に賛同し、2021年11月～12月に計4回2名の方に協力いただきました。安静（楽にしていられるだけリラックス）と、計算もしくは好きな歌を頭の中で繰り返していただく間に脳波のデータを収集します。額の上に装置をつけて測定するため、頭の形も影響します。また、保湿剤（ニベア）を塗っているとうまく脳波測定できない事も分かり、装置を取り付ける前にしっかり拭き取りをして臨みました。



安静との切り替えに初めは戸惑われていましたが、計算よりも歌を連想して頂く方がやりやすいとの参加者の声もあり。お二人とも慣れてこられているため、データの反応も良好でした。1回目と4回目は「計算と安静」、2回目と3回目は「歌と安静」にてデータ収集。これで一旦修了となりました。2か月後、結果を教えてくださいとの事です。以上、ご報告でした。